

2013 年度以降 入学生	情報リテラシー実践ⅠA	科目種別	基礎科目群	単位数	2	特別申請科目
2012 年度以前 入学生	情報リテラシー実践ⅠA	科目種別	基礎教育科目	単位数	2	特別申請科目
担当教員	時間割参照	前期	月・水・金曜日	2限		
①授業方針・テーマ	基本的な情報の活用に係る知識・技能を習得すると共に、表計算ソフトの発展的利用として、基礎的な統計処理を含む問題解決に取り組む。					
②習得できる知識・能力や授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none">・ 基本的な情報活用能力(情報倫理を含む)が向上する・ 統計学の基礎を理解し、データ処理と分析の知識・技能を身につける・ 以上に挙げた情報活用能力に加え、総合的問題思考力、論理的思考力、能動的学修姿勢、倫理観・社会的責任の自覚を習得できる					
③授業計画・内容	<p>【基本】4 回程度</p> <p>1. 情報倫理講習会、授業ガイダンス(情報処理教室の使い方、教育システムの紹介)、レディネス調査</p> <p>2. コンピュータの基本操作と構造(ファイル・フォルダの管理、電子メールの送受信)</p> <p>3. ネットワークの仕組み、情報検索(WWW での情報検索、学術情報の情報)</p> <p>4. 情報の活用と情報倫理、情リテ情報倫理テスト</p> <p>【標準】4 回～6 回程度</p> <p>5. 表計算ソフトによるデータ処理(1)(表の行と列、データの入力、セルの調整、数式処理、オートフィルなど)</p> <p>6. 表計算ソフトによるデータ処理(2)(関数、絶対参照と相対参照、グラフの作成など)</p> <p>7. 表計算ソフトによるデータ処理(3)(ソート、フィルタ、データの集計など)</p> <p>8. 課題提出のための実習</p> <p>9. 統計学についての基礎知識(データの種類、基本統計量、度数分布、ヒストグラムなど)</p> <p>10.母集団と標本(平均・分散の推定、正規分布、t分布など)</p> <p>【発展】4 回～5 回程度</p> <p>11.平均の差の検定(1)(対応のないデータについてのt検定)</p> <p>12.平均の差の検定(2)(対応のあるデータについてのt検定)</p> <p>13.相関分析</p> <p>14.単回帰分析</p> <p>15.まとめ</p> <p>【授業外学習】eラーニングシステム上のコースウェアや、担当教員が公開する資料などを用いて、予習や復習、課題への取り組みを十分に行うこと。</p>					
④テキスト・参考書等	eラーニングシステム上に標準コースウェアを設置する。 クラスによっては担当教員から別途、指示される場合がある。					
⑤成績評価方法	<p>以下の観点に基づき総合的に評価する(担当教員により若干異なる場合がある)。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 授業への出席 (4 回以上の欠席は原則として不合格とする)・ 【基本】【標準】【発展】で提示される課題や発表・ 情リテ情報倫理テスト					
⑥特記事項	<p>初回の「情報倫理講習会」を受講しない場合、原則として授業を受講できなくなるため注意すること。</p> <p>関連する授業科目として、後期に情報リテラシー実践ⅡA(統計学の基礎とデータ処理)、情報リテラシー実践ⅡB(プログラミング)、情報リテラシー実践ⅡC(画像・音の処理)を提供している。</p> <p>【質問受付方法】担当教員により異なるため、授業ガイダンスの際に提示する。</p>					